

事務事業評価表

記入年月日				
平成16年度	事業コード	11220	電話	042-769-9231
担当部課名	保健福祉部	高齢者福祉課	課	いきいき応援グループ
事務事業名	溪松園改修事業			
予算上の事務事業名	溪松園改修事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	いきいきとした高齢社会の創造	15年度
施策名	第2施策	高齢者の社会参加と生きがいつくり	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

県市協調事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか		(2)対象(誰、何)	
相模原市立老人福祉センター溪松園は、昭和47年の施設開設から31年が経過し、施設の老朽化による内外装の改修、耐震診断の結果による耐震補強、公共下水道への接続のための改修工事を行った。		溪松園	
		対象数	単位
		1	施設
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> 改修工事設計 耐震工事 公共下水接続工事 内外装改修工事 警備機器改修委託 備品購入 			
(4)個別計画の概要		概要	
計画名			
計画年次	年度～	年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

成果指標	指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
	再整備計画達成度	実施予算÷再整備計画事業概算額	平成12年度に作成された再整備計画の達成度	13	14	15	16	17
				0	3	24		
活動指標	平成15年度の事業進捗状況	実施事業内容÷予定事業内容	平成15年度事業の達成度			100		

9 事業費等の年度別状況

[金額単位：千円]

		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	0	11,765	90,073	0	0
	人員・時間数					
	人件費		1,602	8,010		
	その他経費					
	合計	0	13,367	98,083	0	0
特定財源		0	0	0	0	0
対象数(施設)			1	1		
単位あたり経費(円)		#DIV/0!	13,367,000.0	98,083,000.0	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	平成15年度に予定していた老朽化に対応した改修工事、耐震工事、等を完了した。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 昭和47年の施設開設から31年が経過し、施設の老朽化による改修が必要であり、耐震診断の結果から耐震補強が必要である。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	改修工事を行うことによって、施設・設備の耐久性・耐震性の確保を図ることができる。
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 改修工事を行うことによって、施設・設備の耐久性の確保を図ることができ、施設設備の延命を図ることができる。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	施設の老朽化による必要な改修であり、また、老人福祉センター若竹園も必要に応じて改修を行なった。
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策		(7)今後の課題となっていること	
湊松園は、昭和47年に開設された施設であり、施設の機能維持のためには、今後も必要に応じて改修をする必要がある。		今回の改修は、必要最低限の改修であるため、今後も必要に応じて改修を行なう必要がある。 指定管理者制度への移行を検討する必要がある。	

11 総合評価(担当課による一次評価)

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 老人福祉センターを老朽化のために改修することは、高齢者の健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための施設としての機能の維持のために不可欠な事業である。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止	
<input checked="" type="checkbox"/>	完了(廃止)済	

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

--